

オスプレイいらない!

“米国の軍事戦略・中国包囲網”へ

日米軍事一体化=木更津オスプレイ V-22



陸上自衛隊のオスプレイ V-22 は木更津にすでに 9 機配備され(あと 8 機もこれから)、具体的な訓練も始まっています。今後オスプレイの訓練地域に予定されている習志野基地周辺:船橋・習志野・八千代の市民団体による「オスプレイいらない!市民集会・デモ」が催されました(2022 年 10 月 1 日参加者約 500 人)。

集会では共同代表の吉沢氏から“木更津オスプレイ V-22 配備”の意味するところが語られました。

i) 米空軍オスプレイ CV-22 のエンジンとローターをつなぐギヤボックス内のクラッチに不具合が頻繁に発生していることを理由に横田基地配備の 6 機を含む全機 55 機の飛行停止を命令(2022 年 8/16)。米軍がオスプレイの構造的欠陥を正式に認めたのです。

又海兵隊のオスプレイ MV-22 は 3 月にノルウエィで 6 月には米国カルフォルニアで墜落し 9 名の乗員の命が失われました。

木更津の V-22 について防衛省は地上待機としましたが、米軍が『パイロットの操縦技術でカバー出来る』として 9/2 に CV-22 の飛行を再開したことを受けて“米軍の説明は合理的”と 9/7 から飛行再開しました。原因も解明されずパイロットの操縦技術の向上でカバーするといったあまりにも安易な対応です。



「未亡人製造機」「空飛ぶ棺おけ」言われているように危ない危ないオスプレイであることが明らかになりました。

ii) このような状況なのに日米政府は 2012 年 MV-22 配備時合意『最低高度 150m』を一方向的に“90m”での飛行を認めてしまっているのです(9/26)。飛行ルートの下に住む住民の命など考えていないのでしょうか。

iii) 木更津基地内において「太平洋水陸両用指揮官シンポジウム」最終日に陸自オスプレイ V-22、米海兵隊のロケット砲“ハイマース”、陸自の地对艦ミサイル(12 式地对艦誘導弾)がそろって南西諸島での日米共同作戦の実践さながらにアピールされたのは、確実に木更津が日米軍事戦略(米国の対中国包囲網)の中に組み込まれてきたという問題点を示しています。木更津オスプレイは米中対立の最前線に直結しています。

iv) 南西諸島ミサイル基地建設・島嶼防衛のためとって水陸機動団と一緒に動くオスプレイ V-22 の配備など具体的に動き出しているのに「2023 年度防衛概算要求の概要」では昨年までは記載されていた装備品の金額掲載がまったくなくなり“一括 5 兆 6000 億円+事項要求(どのくらいか?)”と。情報の出し方について防衛省が変わり始めています。防衛秘密といわんばかりです。シビリアンコントロール(国民主権)など考えていないようです。

v) 木更津のオスプレイは南西諸島ミサイル基地化といった第一列島線の米国の対中国包囲網戦略において具体的に軍事的役割を担うもの。2015 年強行採決された安保法制によって集团的自

衛権の行使が認められる法整備がされてしまったので米中が対立を激化させれば“重要影響事態”“存立危機事態”といった状況下には日本の自衛隊(オスプレイ・ミサイル…)が軍事的にコミットすることになるのです。沖縄を再び戦場にはいけません。

台湾有事ではなく台湾無事にするため日中平和友好条約等日中 4 文書に基づいて「対話」「外交」によって戦争を起こさせないようにする必要があります。

と木更津のオスプレイ V-22 の危険性と置かれている状況を具体的に明らかにし警鐘を鳴らしました。

だから“どこの空にもオスプレイはいらない”のです。

集会に参加した CV-22 が配備されている横田基地の公害訴訟団の方からは CV-22 の構造的欠陥と基地周辺住宅街でのオスプレイのホバリング(100 デシベル)が 30 分も行われるひどさが訴えられました。

木更津の「オスプレイいらない市民の会」の吉田会長からも CV-22、MV-22 の事故や危険性が語られ、v-22 の訓練方法を改善するよう行政と一緒に防衛省へ要望をしているとの報告がありました。



最後に主催者による『オスプレイについて知ってますか?』とクイズ形式で集会参加者に問いました。

Q、オスプレイは 1 機いくらぐらいですか?

答え: 1 機 200 億円、17 機で 3600 億円使いました

Q、オスプレイと今木更津で使われている CH47 ヘリコプターとどちらが多くの人や物を運べますか?

答え: CH-47 のほうが多くの人と重い物を運べます。

Q、災害救助にも必要といわれていますがオスプレイで人命救助をしたことはありますか?

答え: ありません。降りるときのエンジン熱で草木が燃え上がってしまいます。

何のためのオスプレイ購入か?と思わせる結果…

米国以外世界中でどこの国もオスプレイを購入していません。日本は 17 機も購入。米国の産軍複合体が喜ぶだけ。

と同時に米国海兵隊の軍事戦略(EABO)と一体になって自衛隊が活動することが最大の目的なのです。日米軍事一体化の象徴オスプレイなのです。



島から島、島高から島高へと転送してミサイルを発射する米軍の高機動ロケット砲システム(ハイマース)



機動前進基地作戦構想EABO訓練で伊江島に着陸し、ロケット砲を降ろすMC130

日米共同作戦計画・EABO

米中対立における台湾有事を語り続ける米国の対中国軍事包囲網戦略(前線の戦いは軍事同盟国にやらせる。米軍はグアム以後の後方で…)に強力にコミットするのがオスプレイなのです。

戦争はいけません。戦争を回避させましょう。平和主義を掲げ戦争をさせないように対話と外交で平和な状況をつくり出しましょう!

「オスプレイはいりません!」木更津の空にも、習志野の空にも、鎌ヶ谷の空(最近突然木更津のヘリCH47 が下総基地に飛来しています)にも、

日本のどこの空にも、世界のどこの空にもオスプレイはいりません!!

*「民主主義と自治そして平和主義」藤代政夫

047-445-9144